

職能開発科パートナーシップ実習の取組が

『第9回キャリア教育推進連携表彰』にて優秀賞を受賞いたしました。

■13社1法人とのパートナーシップ — 職能開発科担当主幹 安田 賢 —

この度、4年前から積み上げてきたパートナーシップ実習の取組が、文部科学省及び経済産業省共同実施の『第9回キャリア教育推進連携表彰』にて優秀賞を受賞することとなりました。職能開発科とパートナーシップを築いてくださり、生徒の成長のために御尽力くださいました、13社1法人の皆様方に改めて、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。皆様方と進めてまいりました取組を、カタチとして残せたことが何よりも嬉しく思います。

職能開発科 第1期生から築いてきました関係を大切に、今後も生徒・保護者・教員・市民講師が『ONE TEAM』となって進めてまいります。今後も温かな御支援と御協力をいただきますようお願い申し上げます。



■経験から得られるもの — 入学者選考担当 田近 暢彦 —

人の成長は、経験や体験から得られるものが大部分を占めます。その成果は、態度や意識として普段の生活にも表れています。将来、「学校」という学ぶ場から「会社」という働く場に環境が変わることは、生徒にとって非常に大きな変化となります。そのために高等部の3年間でそのギャップを埋めて、スムーズに就労できるようにと考えたのが、このパートナーシップ実習です。

“港だからできること”はまだまだあります。それ以上に、“皆と一緒にできること”を模索しながら学科運営を進めてまいります。引き続き、御協力をお願いいたします。

■職業に関する専門教科の担当者から

食品—小野澤 理科子

物流—守屋 典子

事務—佐藤 比呂二

清掃—高橋 克彦

企業の皆様にはハンドドリップコーヒーや焼き菓子を御提供する業務を行っています。社員の皆様から、「おいしい」「ありがとう」等の声をかけていただくことが生徒にとっても、大きな励みになっています。

常に心を込めておもてなしすることを心がけ、実習を繰り返すことで、生徒たちの様々な成長が見られるようになりました。

お客様に直接届く商品を抱いながら「品質管理」の大切さや「顧客意識」について考え、学んでいます。「安全第一」に行動する重要性に自ら気づき、社員の方々の中で行う「やまびこ」で元気なコミュニケーション力が培われました。

現場での臨場感から、生徒たちの横顔が「働く顔」へ変わっていきま。生徒たちの成長が日々感じられます。

企業からの直接の依頼により、自分達の果たす役割の大きさを実感し、誠実かつ真摯に業務に向かう姿が見られます。よりよい業務ができるよう相談しあう場面が確実に増えました。仲間と共にやり遂げた仕事に認められたときの安堵感と誇らしさは格別のものでしょうか。

御協力いただいている企業様には厚く御礼申し上げます。

更衣室の清掃、開店時の挨拶、バックヤードでの袋むきを行っています。挨拶の大切さや身だしなみの確認が身につきました。

実店舗にて、実際のお客様と向き合える場面が、良い緊張感を生んで学習効果につながっています。また、店舗に並ぶ商品に触れることで、丁寧に扱うことの大切さを体験させていただいています。